

風送ダストに関する現状と今後の展開に関する研究集会

日時：2014年12月11日（木）～12日（金）

場所：九州大学・[筑紫キャンパス](#) 大気海洋環境システム専攻棟（G棟）2階会議室&講義室
（会場が変更になりました。別紙の地図を参考にしてください）

◆12月11日（木）◆

1315 はじめに

1320-1340 岩本洋子（東理大・理）：海洋に沈着した陸起源ダストの性状

1340-1400 谷水雅治（海洋研究開発機構 高知コア研究所）：金属元素安定同位体比の人為起源エアロゾル指標としての可能性

1400-1420 河田綾（東大・大気海洋研）他6名：太平洋東部赤道海域から西部北太平洋における微小エアロゾルの雲凝結核特性と化学組成

1420-1440 福島 聡（熊本県大・環境共生）黄砂時地上付近エアロゾルの変動

1440-1500 村田浩太郎（熊本県大・環境共生）：粒径別黄砂サンプル中に存在する空气中細菌の量と生存状態：2013年と2014年春季の天草西岸部における観測

1500-1520 休憩

1520-1540 杉本伸夫（国環研）黄砂と大気汚染エアロゾルの混合状態と光学モデルの検討

1540-1600 Pan, X., Uno, I. et al.（九大・応力研）：Simultaneous transport of mineral dust aerosols with anthropogenic pollutants revealed by Polarization Optical Particle Counter (POPC) occurred in springtime, 2014

1600-1620 原由香里（九大・応力研）：一週間継続した汚れた黄砂のモデル解析

1620-1640 長田和雄（名大・環境）：夏の黄砂は珍しい？

1640-1700 三浦和彦（東理大・理）：富士山系におけるエアロゾル計測

1700-1720 清水 厚（国環研）：国内におけるライダー黄砂消散係数とSPM・PM2.5との関連

1830頃～ 懇親会

（準備の都合がありますので、懇親会参加希望者は12月1日までに幹事へご連絡ください）

◆12月12日（金）◆

0900-0920 石塚正秀（香川大）：福島県浪江町における放射性物質の地表面からの再飛散に関する研究

0920-0940 三上正男（気象研究所）：モンゴルにおけるダスト飛散過程の観測

0940-1000 黒崎泰典（鳥大・乾地研）：モンゴル・ツォクトオボーにおける砂塵観測(その2)

1000-1020 西川雅高（東理大・環保セ）他3名：十砂十色の黄砂発生源土壌

1020-1040 原 和崇（鳥大・乾地研）他4名：砂漠の植物表面に存在する氷核活性微生物の探索

1040-1100 長島佳菜（JAMSTEC）他2名：堆積物を用いた、アジアダスト長距離輸送の季節性の検証

1100-1120 弓本桂也（気象研究所）：黄砂同化予測システムの開発にむけて

1120-1140 青木一真（富山大・理工）日本における黄砂の光学的特性の時間・空間変動

1140-1200 総合討論

本件連絡先（幹事）：長田和雄（名古屋大学）・原由香里（九州大学）
（メール：kosada@nagoya-u.jp）

JR 大野城駅から会場へ (九州大学 筑紫キャンパス G 棟 2 階)

九州大学 筑紫地区 キャンパスマップ

